

# 静岡松涛タイム 第71号

発行元：静岡県本部広報部 責任者：置塩大三郎

連絡先：0547-35-3537(TEL&FAX)

E-mail：takkukan@lemon.plala.or.jp

県本部 HP：http://www.shizuoka-karate.com/

広報部 HP：http://plaza.across.or.jp/~cyber-ex/

## ■ 第13回 鷹生館大会 ■

平成27年4月19日(日)、藤枝市高洲支部鷹生館道場にて、第13回鷹生館大会を開催しました。当日は暖かく春らしい陽気の1日でしたが、試合の方は熱気が高まる対戦が行われました。参加した選手達は午前中に型試合、午後からは組手の試合に挑みました。色帯や黒帯の小学生の活躍も目を見張る物がありましたが、それに負けないくらい、空手を始めて間もない子供達の元気で大きな気合が道場の中に飛びかい、応援に駆けつけたお父さん・お母さんの前で日頃の成果を發揮する事ができました。当道場だけの小さな大会でしたが、子供達の胸に掛けた小さなメダルが輝き、次の大会でも頑張りメダルを取ろうと練習する決意をしたようでした。当日は近隣の松涛連盟の先生方にお手伝いをいただき、鷹生館大会が無事終了しました事にとっても感謝しています。これからも鷹生館大会を続けて行き、道場生の心や技術の向上をめざし、大きな大会に繋がられるようになれば良いと思います。(レポート：藤枝高洲支部鷹生館 小椋 明)

## ■ 第16回 JKS 静岡県空手道選手権大会 ■



平成27年5月27日、静岡県北部体育館に於いて第16回松涛連盟静岡県大会が開催されました。幼年・小学生低学年から一般3部まで多くの参加者による、頂点を目指した意地のぶつかり合う熱い戦いが繰り広げられました。選手達にとって全国・東海北信越大会に次ぐ大きな大会の1つであり、日頃の稽古の成果を

發揮する大舞台でもあります。開会式前の練習からは「今日は1番を獲るんだ!」という強い気持ちが気合いとなり、大きな声や熱気が会場を包んでいました。試合が各コートで始まり真剣な顔つき・目つきは普段の比ではありません。近年では大きい学年の選手だけでなく低学年の選手のスピードと力強さも格段にレベルが上がり、大人顔負けの型・組手をする子も多く驚かされます。試合に勝ち、とびっきりの笑顔で喜ぶ選手、負けて悔しくて泣きながらも次に勝つために先生に教わっている選手と、この大会に掛ける思いを強く感じられる大会になったと感じました。私も選手として団体と個人の組手に参加させていただき、やはり1回戦目の緊張は凄く、身体は固く、気持ちが先走る状態でのスタートでした。しかし選手であれば皆感じていることと思いますが、後ろにいる仲間・先輩・後輩又は観客席から応援してくれる方々の声はとても大きな力になります。そのおかげもあり個人決勝では尊敬する先輩と試合をすることが出来ました。自分の自信のある技・動きをする、簡単そうで実はとても難しいことですが、普段の稽古や今までやってきた空手を信じ、試合中では気合いの籠った技を出すことが1つでも多く技ありを取ることに繋がります。勝っても負けても反省は大事です、それが次に勝つための大きな鍵になります。そしてなによりも空手を楽しむこと、技ありが取れた時・勝負に勝てた時・稽古の成果が出た時が空手をやって良かったと思えるうちの1つだと私は思っています。最後になりましたが大会開催・運営をしていただいた先生方、コート係や準備をしていただきました御父兄の皆様心より感謝しこの場をお借りしてお礼申し

上げます。(レポート： 焼津将陽館 新井翔太)

## ■平成 27 年度静岡県本部通常総会■



平成 27 年度通常総会が、6 月 21 日(日)に静岡市クーポール会館にて行われました。昨年度の収支報告や本年度の予算案・事業計画等を全会一致で承認に引き続き、本年度は任期満了に伴う役員改選という事で、大井久生本部長率いる新体制が発足致しました。常任理事に夏賀則子氏(藤枝支部長)が就任し「会員の拡大」「技術の向上」「武道人としての礼節の向上」に加え「女性指導者の育成」をテーマに運営を行うことを発表致しました。今年度より、新支部「高心館」の発足と高井康宏支部長の紹介が有りました。総会終了後の懇親会では、各道場の情報交換など空手談話が尽きることは有りませんでした。本年も静岡県本部の発展と皆様のご活躍を祈っております。(レポート：事務局長 菊地伸幸)

## ■平成 27 年度 6 月期昇段審査会■

■少年部初段■	石原 和輝(掛将陽)	岡部菜々美(高 洲)	鈴木 茉菜(藤 枝)	河野 樹(西焼津)
山本 大樹(高 洲)	竹下 美南(青 島)	石原 颯馬(掛将陽)	吉田 優太(御殿場)	小村菜々子(尚志館)
杉山 雄紀(瀬戸谷)	原崎 拓真(静岡西)	長島 竜矢(静岡西)	塩谷 昂太(高 洲)	阿井 章真(瀬戸谷)
澤口 徳真(瀬戸谷)	杉山 匠(瀬戸谷)	中村 奏太(高 洲)	岩本 昂大(焼 津)	
■一般部初段■	山本 祥子(西焼津)	平石 直子(西焼津)	三輪 敏己(高 洲)	鈴木千佳子(焼 津)
■少年部二段■	杉山 悠大(高 洲)	加藤 皓大(麻 機)	■一般部二段■	置塩 碧(島 田)
鈴木 正巳(島 田)	望月 正彦(川 根)	赤羽 幸代(浜将陽)	大石 卓(高 洲)	
■ 参 段 ■	鈴木絵梨香(高 洲)	菊地 富子(浜将陽)		

## ■第 16 回 JKS 東海北信越地区空手道選手権大会■



平成 27 年 6 月 28 日(日)に藤枝市の静岡県武道館にて「第 16 回 JKS 東海北信越地区空手道選手権大会」が開催されました。当日は、あいにくの雨模様となつてしまいましたが、国内でも屈指の激戦区「東海北信越地区」の各県にて厳しい稽古を積んだ強豪選手が早朝より武道館に集結し、会場を盛り上げました。今年度は静岡県がホストという事で、県内各支部のスタッフによる会場設営はもとより、集計・表彰作業の効率化を図る為の無線 LAN によるタブレットシステムの導入や会場内での大会補助員のサポートもあり、大会全体の流れが非常にスムーズに運ぶ事ができました。

今回、本大会に出場した選手よりお便りが届きましたので、この場をお借りしまして紹介させていただきます。

### 東海大会に向けて

僕がこの大会に向けて、特に頑張ったのは「練習への意識」です。「意識」は集中力にも関わってくるので常に注意しています。空手の練習だけではなく、学校での勉強や普段の生活でも心掛けています。そして、「意識が変われば、行動まで変わる」という事が実感できるようになりました。更にもうひとつ心掛けてるのが、道場での先輩として、後輩達へのお手本となる事はもちろん、小さい子に気を配って1日の練習を終わる事です。練習の最後の終礼の時には、しっかりと整列させてあげるのも僕の役割です。小さい子を並ばせるのは、簡単なようで難しくてたいへんですが、先輩としての意識だと思ひ頑張っています。そのような、意識を持った練習を重ねていくようになって、少しずつ結果が出るようになってきたのがわかりました。強くて上手な選手が大勢参加した今回の東海大会も、練習の成果を発揮して優勝する事ができました。これからもっと大きな大会がありますが、今の練習をもっと頑張つて結果を出して行きたいと思ひます。(レポート：安倍川支部 小学6年 池田 匠弥)

